

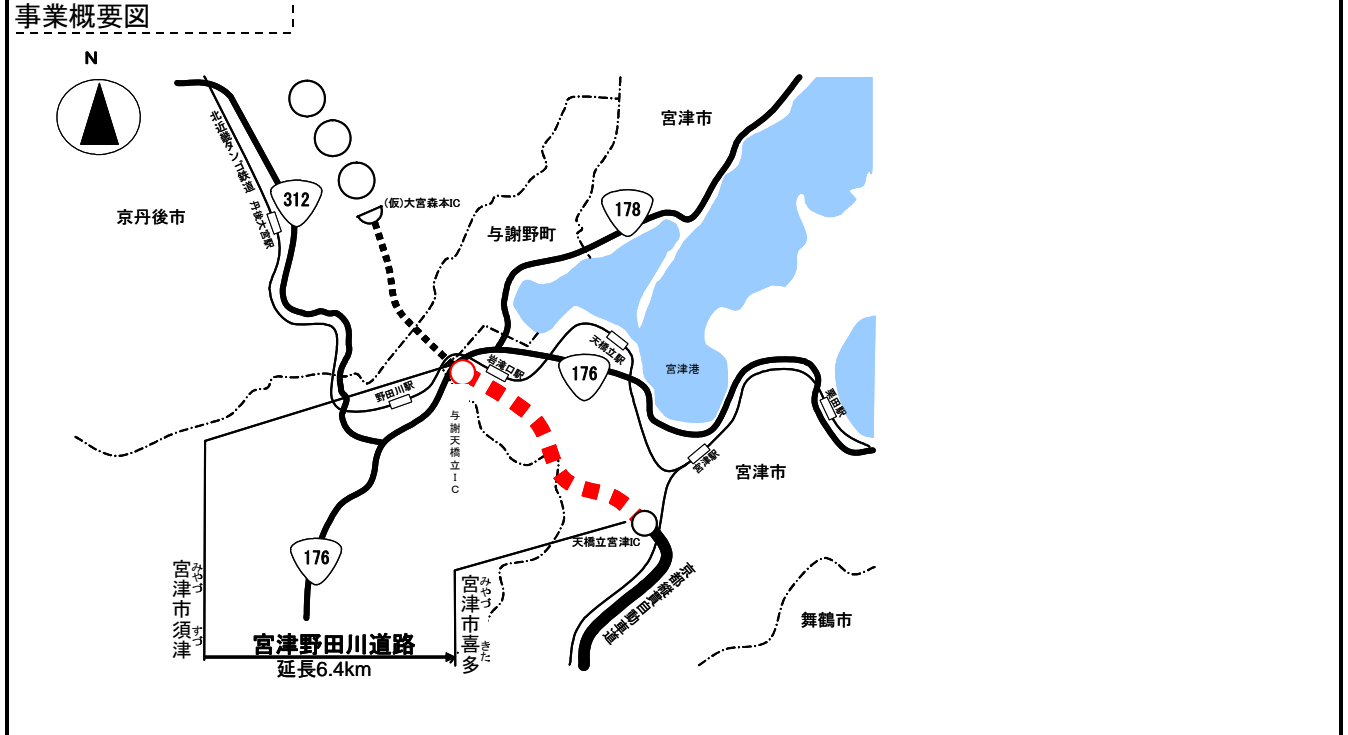
事後評価結果（平成24年度）

担当課：京都府建設交通部道路建設課
 担当課長名：仲久保 忠伴

事業名	鳥取豊岡宮津自動車道 みやづのだがわ 国道312号宮津野田川道路	事業区分	地域高規格道路	事業主体	京都府
起終点	自：京都府宮津市喜多 至：京都市宮津市須津	延長	6.4 km		

事業概要
 鳥取豊岡宮津自動車道は、鳥取市から豊岡市を経て宮津市に至る延長120kmの地域高規格道路であり、鳥取県東部地域、兵庫県但馬地域及び京都府北部地域の交流・連携を図り、京都縦貫自動車道等との連携により、広域的なネットワークを形成する路線である。
 宮津野田川道路は、鳥取豊岡宮津自動車道の一部を形成し、京都府宮津市内における一般国道312号(国道176号との重用区間)の渋滞発生区間を迂回する延長6.4kmの地域高規格道路事業である。

事業の目的・必要性
 宮津野田川道路は、高規格幹線道路である京都縦貫自動車道と接続することで、丹後地域と府南部地域を結び、地域社会経済の支援、災害時の迅速な避難、救援、物資の輸送のために重要な路線であり、また京都府宮津市街地、天橋立周辺における交通混雑の緩和、丹後地域への観光誘客、消防・救急活動等に大きく寄与するものである。



事業の 効果等	事業期間	事業化年度：H6年度 都市計画決定：H11年度	用地着手：H8年度 工事着手：H10年度	供用年 (暫定/完成)	(当初) H22/— (実績) H22/—	変動	1.0倍
	事業費	計画時 (名目値) 345.0/— 億円 (実質値) /— 億円	実績 (名目値) 328.3/— 億円 (実質値) /— 億円	暫定/完成	暫定/完成	変動	0.95倍
	交通量 (当該路線)	計画時 (暫定/完成)	4,700/— 台/日	実績 (暫定/完成)	4,920/— 台/日	変動	105%
	旅行速度向上 (供用前現道→当該路線)	25.1 → 70.0 km/h (供用直前年次) 22年度 (供用後年次) 23年度	交通事故減少 (供用前現道→供用後現道)	— 件/億台キロ (供用直前年次) 年度 (供用後年次) 年度			
費用対効果 分析結果 (再評価)	B/C : 1.3	総費用 : 418 億円 (事業費 : 366 億円 維持管理費 : 52 億円)	総便益 : 545 億円 (走行時間短縮便益 : 425 億円 走行経費減少便益 : 96 億円 交通事故減少便益 : 24 億円)	基準年 : H20年			
費用対効果	B/C	総費用 : 億円	総便益 : 億円	基準年 : 年			

分析結果 (事後)	(事業費: 億円) (維持管理費: 億円)	(走行時間短縮便益: 億円) (走行経費減少便益: 億円) (交通事故減少便益: 億円)	年
事業遅延によるコスト増	費用増加額: 億円	便益減少額: 億円	
客観的評価指標に対応する事後評価項目			
<ul style="list-style-type: none"> ●京都府南北地域のアクセス（所要時間）の短縮 <ul style="list-style-type: none"> ・宮津野田川道路を利用することにより、京都市（府庁）から京丹後市（市役所）所要時間が約8分短縮される。（供用前：143分 供用後：135分） ●救急救命活動への貢献 <ul style="list-style-type: none"> ・京都市、舞鶴市など医療機関への搬送（年間約50件）や混雑する宮津市街地をバイパスするなど救急救命活動に貢献。 			
その他評価すべきと判断した項目			
<ul style="list-style-type: none"> ●災害に強い道路ネットワークの整備 <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の広域輸送幹線道路としての役割を担う「第一次緊急輸送道路」に指定され、災害に強い道路ネットワークの整備が促進。 ●渋滞の解消 <ul style="list-style-type: none"> ・観光シーズンにおける宮津市街地での交通渋滞が解消。 ●丹後地域への観光誘客への効果 <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災や高速道路無料化終了があったが、平成23年度の丹後地域の観光入込客数はほぼ前年度並みを維持。 			
事業による環境変化	環境影響評価に対応する項目		
	<ul style="list-style-type: none"> ・環境影響評価は実施していない。 		
事業を巡る社会経済情勢等の変化	その他評価すべきと判断した項目		
	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 		
事業を巡る社会経済情勢等の変化 <ul style="list-style-type: none"> ・平成16年4月に旧峰山町、旧大宮町、旧網野町、旧丹後町、旧弥栄町、旧久美浜町の6町が新設合併し京丹後市が誕生。 ・平成18年3月に旧加悦町、旧岩滝町、旧野田川町の3町が新設合併し与謝野町が誕生。 ・平成23年6月に休日特別割引や高速道路無料化社会実験が終了したが、平成23年度と比べて平成24年度（暫定値）は交通量が約12%増加 			
今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性 <ul style="list-style-type: none"> ・宮津野田川道路の供用により、観光シーズンにおける市街地の渋滞解消、交通の安全性向上、さらには、観光地へのアクセス向上等、事業目的に見合った効果の発現が確認できていることから、今後の事後評価の必要性はない。 			
計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性 <ul style="list-style-type: none"> ・特に、計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性はない。 			
特記事項 <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 			

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。